

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	脊椎くも膜下麻酔下に帝王切開術を施行し、無事に生児を得た再生不良性貧血の2症例
研究責任者	笠井 靖代
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>妊娠が再生不良性貧血に及ぼす影響は妊娠を契機とした発症や妊娠中の再生不良性貧血の増悪が指摘されています。</p> <p>一方で再生不良性貧血が妊娠に及ぼす影響として母体側は貧血、白血球減少による感染症、血小板減少による出血、他に妊娠高血圧症候群などがあります。</p> <p>胎児側は胎児発育不全、胎児機能不全、子宮内胎児死亡や早産などがあげられます。</p> <p>当センターでの2症例を考察することで再生不良性貧血合併妊娠の望ましい周産期管理を明らかにすることを目的としています。</p>
研究方法	<p>【研究の方法】 対象は、2018年4月から2019年2月に当院で分娩された再生不良性貧血の妊産婦の方です。 診療録から、具体的な妊娠分娩管理の実際と、血液内科、麻酔科と協力のもと分娩までの経過を後方視的に解析します。</p> <p>【個人情報の保護】 この研究に関わる成果は、他に漏洩することのないよう慎重に取り扱います。 情報は分析する前に氏名、住所、生年月日などの個人情報を削りどなたにもわからないようにします。</p> <p>【研究結果の公表】 本研究で得た知見は、学会や論文等で公表したいと思います。 研究対象者に該当し、参加を希望されない方は下記の連絡先までお願いいたします。 研究に参加を希望されなくても不利益は一切生じません。 直接的な利益ではありませんが、将来出産する方には有益な貢献となると思っております。</p>
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 産婦人科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者： 笠井 靖代 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604